

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

課名		子育て支援課	事業No.	109
会計		一般会計		
事業区分		政策	実施区分	継続
開始		H19	終了	
事務事業名		重症心身障害児通園事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			地域福祉計画
	法令・例規等			児童福祉法
			障がい者総合支援法	
事業目的	対象	重症心身障害児とその保護者		
	意図	健康状態に合わせた通園をし、個々の機能訓練や家庭外での活動・体験の場を広げ発達を支援します。		

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	個々に対する必要な支援を十分把握し、リハビリや研修会で得た専門的な知識や技術を、園内の生活の場で活かせる研修の場を設け、繰り返し実践しました。 保護者の思いを傾聴し個々の成長を促すとともに、通所する意義を感じられるよう、専門的な療育を提供することを心がけ実践しました。		臨時職員賃金					8,343			
			光熱水費					1,128			
			その他の経費			1,251					
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	登録者数	人	6	7	6	8	6	6			
	延べ利用人数	人	486	243	486	246	486	357			
1年度決算(千円)	予算額	11,065	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	10,722	(そ) 児童発達支援給付費負担金 8,149千円								
	財源の状況	国庫支出金	0	(そ) 諸収入 844千円							
		県支出金	0								
		地方債	0								
		その他	8,993								
	一般財源	1,729									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	3	2	4	14	1	11,065	10,722	重症心身障害児通園事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		保護者から、より専門的な支援スキルを望む声があります。 医療との密接な連携が必要とされる児童が通所しています。医療的ケア児は、送迎が困難で定期的な登園日を維持しにくいいため、訪問型支援などの充実を検討する必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		職員研修など資質向上の機会を確保することが大切です。医療的ケア児等コーディネーターによる対象親子への支援を担任と共有していく必要があります。市立病院・県立こども病院・信州大学病院・信濃医療福祉センターなど関係医療機関との連携により適切な保護者支援を行う必要があります。							
次年度に向けての取り組み		職員の支援スキルの向上に努めます。居宅訪問型事業を定着させ、多職種の協力体制による訪問療育を充実します。 医療的ケア児等コーディネーターによる医療的ケア児及び保護者への支援を担任と連携して実践します。病院受診同行など保護者の不安に寄り添った丁寧な支援を実践します。							